

第3【設備の状況】

1【設備投資等の概要】

当社グループではお客様にご満足いただけるサービスの提供と信頼性並びに通信品質向上を目的に、効率的に設備投資を実施しました。

その結果、当連結会計年度に完成し事業の用に供した電気通信設備等の投資額はソフトウェア等を含め387,679百万円となりました。なお、設備の状況以下各項目の金額には消費税等は含まれておりません。

セグメントごとの主な設備投資の状況は、次のとおりであります。

(移動通信事業)

移動通信事業におきましては、より一層のお客様ニーズに応えるべく、商品力強化への対応、サービスエリアの拡充・通信品質の向上を目的とした無線基地局及び交換局設備等の新設・増設を行いました。

その結果、当連結会計年度の設備投資額は252,853百万円となりました。

(固定通信事業)

個人のお客様向けには、auひかり等のFTTH需要増に伴うネットワークの構築や、その他関連設備の新設・増設を行いました。

法人のお客様向けには、各種法人用サービスの提供による商品力強化に伴い、設備の増設を行いました。

また、伝送路、局舎等のインフラ設備では、需要増に対応してアクセス系ネットワーク、バックボーンネットワークの容量増強を行うと共に、サービスの信頼性並びに通信品質向上を目的とした対応を行いました。

その結果、当連結会計年度の設備投資額は124,160百万円となりました。

2【主要な設備の状況】

(1) 提出会社

事業所名 (所在地)	セグメント の名称	帳簿価額 (百万円)														従業員数 (名)
		機械 設備	空中 線設 備	市内 線路 設備	市外 線路 設備	土木 設備	海底 線設 備	建物	構築 物	土地 (面積㎡)	施設 利用 権	ソフ トウ ェア	のれ ん	その 他	合計	
本社 (東京都新 宿区) 他	移動通信	470,396	342,244	12	360	225	—	127,146	27,437	35,222 (1,204,027)	9,703	134,596	—	78,464	1,225,807	6,090
	固定通信	100,784	1,978	61,158	5,040	23,666	7,190	43,364	2,139	20,436 (1,388,228)	741	30,980	7,752	18,345	323,579	5,086
	消去又は全社	616	—	0	2	0	—	27,167	860	191,642 (2,437,429)	13	18,884	—	7,782	246,970	18
合計		571,797	344,222	61,171	5,403	23,892	7,190	197,677	30,438	247,300 (5,029,685)	10,457	184,461	7,752	104,592	1,796,357	11,194

(2) 国内子会社

会社名 (所在地)	セグメント の名称	帳簿価額 (百万円)														従業員数 (名)
		機械 設備	空中 線設 備	市内 線路 設備	市外 線路 設備	土木 設備	海底 線設 備	建物	構築 物	土地 (面積㎡)	施設 利用 権	ソフ トウ ェア	のれ ん	その 他	合計	
沖縄セルラー 電話株式会社 (沖縄県那覇市)	移動通信	8,893	6,158	—	12	19	—	3,505	311	544 (24,525)	90	62	—	737	20,335	96
ジャパンケー ブルネットホ ールディン グ株式会社 (東京都中央区)	固定通信	—	—	—	—	—	—	1,596	46,019	322 (4,147)	209	2,934	20,858	25,963	97,904	1,204
中部テレコ ミュニケー ション株 式会社(愛 知県名古屋 市中区)	固定通信	11,085	—	67,492	184	1,781	—	6,892	54	557 (5,861)	1	1,980	—	1,915	91,944	589

(3) 在外子会社

会社名 (所在地)	セグメント の名称	帳簿価額 (百万円)														従業員数 (名)
		機械 設備	空中 線設 備	市内 線路 設備	市外 線路 設備	土木 設備	海底 線設 備	建物	構築 物	土地 (面積㎡)	施設 利用 権	ソフ トウ ェア	のれ ん	その 他	合計	
Telehouse Holdings Limited (LONDON, U. K.)	固定通信	-	-	-	-	-	-	18,427	-	1,774 (115,802)	-	21	3,139	13,864	37,228	115

- (注) 1. 帳簿価額には、長期前払費用が含まれています。
 2. 帳簿価額には、建設仮勘定の金額を含んでおりません。
 3. 現在休止中の主要な設備はありません。

3 【設備の新設、除却等の計画】

当社グループの当連結会計年度後1年間の設備投資（新設・拡充）及び除却等に係る計画は次のとおりであります。

(1) 重要な設備の新設等

セグメントの名称	設備等の主な内容・目的	設備投資予定額 (百万円)	完成予定年月
全セグメント	<ul style="list-style-type: none"> サービスエリアの拡充と通信品質の向上を目的とした無線基地局及び交換局設備等の新設・増設等 FTTH事業等の設備の新設・増設等 伝送路の新設・増設等 	450,000	平成24年度中

- (注) 1. 設備投資予定額は支払いベースであります。
 2. 今後の必要資金は自己資金及び借入金等により充当する予定であります。
 3. 当社グループが推進する『3M戦略（マルチネットワーク・マルチデバイス、マルチユース）』に基づく「auスマートバリュー」・「auスマートパス」等のサービスの提供開始に合わせて、当社グループの経営成績の管理体制を平成25年3月期から、パーソナル事業、バリュー事業、ビジネス事業、グローバル事業の4つのセグメントへ再編いたします。当社グループの主要な設備である通信設備は、これらのセグメントにおいて共通で使用するものが大半であることから、設備投資計画に係る各セグメントごとの内訳は記載しておりません。

* 「スマートバリュー」は、イーエムシー株式会社の登録商標です。

(2) 重要な設備の除却等

該当する計画はありません。